



吉子川



令和7年1月8日(水)
 学校だより NO. 56
 中島村立吉子川小学校
 発行責任者 校長 木戸美智子

【めざす児童像】

- あかるく たくましい子ども (体)
- やさしく おもいやりのある子ども (徳)
- めあてをもって がんばる子ども (知)

【よしコッピ】

吉子川小学校
 のあやめの花に
 住む小鳥の妖精

今月のいきいき中島っ子 学びの
 十か条 (1月)
 力を合わせてみんなで前進
 仲間がいるから頑張れる

◇ 51日間の3学期が始まりました！ ◇

第3学期がスタートし、子どもたちの元気な声と明るい笑顔が吉子川小に戻ってきました。大きな事故やけが等の報告もなく、元気に第3学期のスタートを切ることができましたのも保護者の皆様や地域の皆様の声かけ、ご配慮のお陰と深く感謝申し上げます。

さて、第3学期は49日間という短い学期です。その中で、村の学力テストや縄跳び記録会、6年生を送る会など数多くの行事があり、あっという間に過ぎてしまうのではないかと思います。そして何より、令和6年度の学校生活を牽引してくれている年生の卒業式がある学期なのです。

始業式では、新年にあたり「**未来を変えるには**」という話をしました。未来を変えるには、今という一瞬一瞬を一生懸命生きること、今を大切にしていけることにすべての力を注ぎ、今を大切に生きるといことであると話しました。できない理由を探すのではなく、自分にできることを探し、ほんの少しでもいいから自分のため、みんなのために進んで行動することで自信が生まれ、未来を変えていくことができると思います。

あやめっ子であることに誇りをもって堂々と進級・進学できるよう、今やることに全力を尽くす毎日をスタートさせます。令和7年が子どもたちにとってよりよい充実した1年となるよう職員一同努めて参ります。保護者の皆様にもご理解・ご協力いただけますようお願いいたします。



◇ 挨拶の大切さ ◇

私達の生活の中で、言葉によるコミュニケーションは欠かすことはできませんし、その言葉のもつ意味はとても重要です。なぜかと言えば、温かみのある言葉によって励まされ勇気付けられ、反対に冷たい言葉を浴びせられると落ち込んだり自信をなくしてしまうことがあるからです。

そこで重要視したいのが「挨拶」です。毎日当たり前のように誰もがやっている挨拶ですが、言葉の意味を調べてみると、「挨拶の"挨"という字は、『開く』という意味であり、"拶"は『迫る』という意味で、つまり、挨拶というのは『心を開いて相手に迫る』こと」なのだそうです。「おはようございます」には「朝早くから起きてご精を出し、偉いですね」というほめ言葉の意味があるとも言われます。この「おはようございます」という言葉によって、朝から互いにほめ合い、一日をスタートさせることはとても気持ちがいいものだと思いますか？ 挨拶は、互いのコミュニケーションを深める第一歩として大切ですし、無意識のうちに互いの存在を認めているという、人権を尊重する意味からも大切です。また、それ以上に大切だと思うことは、声を出して挨拶をするという行為です。そのことによってコミュニケーションが始まり、人間関係が作り上げられていくのです。自分を取り巻く家族や近所の人に、そして先生や友達に元気でさわやかな挨拶を交わすことは、とても大切なことなのです。誰もが互いに挨拶を交わすことで、清々しい気持ちになったことがあるはずです。「ありがとうございます」「すみません」そして「はい」などの言葉も、感謝の心や素直な気持ちを表す言葉として挨拶と同様に大切で、互いの人間関係を良くしてくれます。

豊かなコミュニケーションを築く第一歩として、みんなで挨拶の輪を広げ、元気で笑顔が絶えない吉子川にしていきたいものです。

